

無痛分娩運用マニュアル

2025年8月22日

【外来】

- ・ 当院の無痛分娩は計画無痛分娩であり 356 日 24 時間体制でないこと、土日祝日、時間外の対応は行っていないことをホームページにて案内
- ・ 初診時に無痛分娩希望を把握し当院の無痛分娩方法が理解できているかを面談で確認
- ・ 無痛分娩対応不可条件あり（高度肥満・血液凝固異常・妊娠糖尿病・低身長・側弯）
高度肥満、低身長、側弯症は要相談
- ・ 無痛分娩の希望は 34 週までに最終確認
- ・ 34 週時に無痛分娩の説明書、説明書お渡し、手順の DVD 鑑賞、麻酔科医師によりリスク確認
- ・ 希望者は 36 週の妊婦健診時に無痛分娩に必要な検査を実施(採血・心電図・レントゲン：自費)
- ・ 37 週以降の健診で内診所見を評価し適時入院日決定とする
- ・ 計画無痛分娩であるため入院日は誘発の前日

【入院】

- ・ バイタルサイン、尿検査、NST 検査後、内診を行い必要に応じて頸管拡張処置を実施
- ・ 拡張処置後は母体、胎児に異常がないことを NST モニターの再検、バイタルサインを適宜行い異常の早期発見に努める

【分娩】

- ・ 誘発剤投与前に NST モニター評価
- ・ 血管確保、心電図モニターでの母体管理、血栓予防のための弾性ストッキング装着実施
- ・ 医師と共に NST モニター評価し指示の分娩誘発剤投与開始
- ・ 麻酔科医にて硬膜外麻酔処置（別紙手順マニュアルあり）
- ・ 麻酔科医にてテストドーズ投与後後、効果判定にて問題なければ産科医へ引き継ぎを行う

【局所麻酔薬中毒発生時対応】

異常が生じた場合は直ちに誘発剤投与中止、酸素投与実施

合わせて分娩医、麻酔科へ状況報告し応援要請、以下の対応とする

- 1) イトラポリス輸液 20% 1.5ml/kg (100ml) 1 分かけて投与
- 2) 0.25ml/kg/分 (1000ml/時) 持続投与開始
- 3) 5 分後循環改善なければ再度 1.5ml/kg (100ml) 投与と共に持続投与
- 4) さらに 5 分後、再度 1.5ml/kg (100ml) 投与 ボーラス投与は 3 回が限度
- 5) 循環の回復、安定後もさらに 10 分間はイトラポリス継続投与